



東京立川ロータリークラブ

2018.9.28 第2810回 例会

# Weekly Report



本日の卓話講師、森本博行様を囲んで

## 【司会進行】

SAA委員会 織原寛一郎委員長

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『それでこそロータリー』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【委員会報告】

親睦委員会 齋藤 優委員

【ニコニコ発表】

親睦委員会 古屋佳男副委員長

【出席率の発表】

出席委員会 渡辺博昭委員

会 員 数	113名
出席義務会員	105名
出席免除会員	8名
当日出席者	92名
出席免除会員の当日出席者	2名
出席率	85.98%
9月14日の出席率	81.65% → 100%

## 【卓話講師紹介】

プログラム委員会 宮澤公栄副委員長

## 【卓話】

株式会社オフィス・キヨモリ

代表取締役 森本博行様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

## 【会長挨拶】 清水淳一会長

今月のロータリーの友を読んでいると、映画「プレスしあわせの呼吸」の記事が載っておりました。副題に「世界一幸せに生きた全身麻痺のイギリス人と家族による感動の実話」とあり、横書きの28ページです。ポリオに感染したイギリス人のストーリーでした。今月の7日から劇場で公開とありましたのでインターネットで調べてみたら公開している劇場は少なく、ほとんど都内の劇場でした。しかし、昭島の森タウンにある劇場で公開しておりました。早速奥さんとこの前の日曜日に観てきました。内容を簡単にお話ししますとイギリスの映画プロデューサーであるジョナサン・カバンディッシュが制作した映画で、彼の父親であるロビン・カバンディッシュと、その妻ダイアナの激動の半生の実話です。1958年は私が生まれた年ですが、ロビンが28歳で身ごもった妻ダイアナと紅茶の買い付けに、アフリカはケニアに滞在している時にポリオに感染してしまいました。首から下が麻痺し人工呼吸器なしでは生きられず、余命3ヶ月と宣告され、それ以上生きられても、一生病院で寝たきりだと言われました。しかし、妻ダイアナの助けによって自宅で暮らすために家を改築し、後には車椅子にバッテリーを積み人工呼吸器を取り付けて、外へ出るようになりました。家族で海外旅行スペインにも行っています。64年の人生を生きました。ロビンと妻のダイアナ、兄弟や友人たちとの絆が感動的に描かれています。映画を観終わって、とても良い映画だったと言いました。家族愛の感動をおぼえ、より一層夫婦愛が深まりました。この映画のオープニングに「協力・ロータリー」のマークがでて、RIとエンド・ポリオ・ナウのロゴが入っています。ロータリーの友に公開に先駆けロータリアンに鑑賞していただき、寄せてもらったコメントを読んでも、感動を受け大変素晴らしい作品でしたと寄せられていました。皆さんも是非横書きの28ページを読んでみてください。私はここで二つ学びました。一つ目はポリオの感染です。ポリオとは大人でも感染するのだと改めて怖さを感じ、またポリオ撲滅活動の意義を深く覚えました。二つ目はロータリーの友の情報です。ほんの小さな記事でも何らかのヒントがあるような気がします。



清水淳一会長

## 【お客様の紹介】 清水淳一会長

西川哲造様(東京昭島ロータリークラブ)

【卓話講師】 森本博行様(株式会社オフィス・キヨモリ 代表取締役 元築地市場長)

2018~2019年度 RIテーマ

2018~2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン



インスピレーションになるよ

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会  
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ  
会長 清水淳一



司会進行  
織原寛一郎委員長



ニコニコ発表  
古屋佳男副委員長



出席率発表  
渡辺博昭委員



例会時には必ずバッジをつけましょう

## 【幹事報告】 平井洋孝幹事

●先週の卓話講師菅山様よりプロジェクトマッピング(はるか)のDVDを頂きました。レンタルですがご覧ください。●9月28日、2018-19年度多摩中グループ協議会が18:00よりレストラン葦(小金井)にて開催予定。●今月でクールビズは終了。



## 【委員会報告】

### 親睦委員会 齋藤 優委員

ガム地区大会申し込み締め切りのご案内です。2019年2月23日に開催されます地区大会の申し込みを今月末で締め切らせて頂きます。地区大会開催の影響で飛行機が大変混み合っておりますので、ご了承の程お願い申し上げます。



## 【ニコニコ発表】 親睦委員会 古屋佳男副委員長

●清水淳一会長 卓話講師でいらっしゃいます、株式会社オフィス・キヨモリ代表取締役 元築地市場長 森本博行様、本日はお忙しい中、足を運んで頂きありがとうございます。短い時間ではありますが、先生のお話を楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。先日のパスト会長会には、お忙しい所、雨の降る足元の悪い中、パスト会長の皆様にお集まり頂きありがとうございます。皆様の貴重なるご意見を心に刻み、残り9ヶ月平井幹事と共に頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻を重ね重ね宜しくお願ひ申し上げます。

●平井洋孝幹事 株式会社オフィス・キヨモリ代表取締役 森本博行様、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願ひ致します。

●磯部弘志さん 米山記念館に行ったことがなかったので、昨日米山委員会の炉辺にオープン参加させていただきました。有難うございました。

本日合計 17,000円 本年度累計 785,000円

## 【卓話講師紹介】

### プログラム委員会 宮澤公栄副委員長

皆様もご存知の通り、本年10月11日に築地市場が豊洲に移転いたします。世界的にも注目されております市場の大移転という事で、元築地市場の場長をされておりました森本博行様にご講演頂きます。森本様は



元々東京都の職員であり、築地市場全ての管理をされている方ですが、現在は東京都の職員は退職され、個人でコンサルタントとして全国の水産業者を指導されていますが、当時の築地の裏話や、また豊洲新市場の課題や展望等も含めてお話し頂きます。

卓話「築地から豊洲へ 移転の道のりと今後の展望」  
株式会社オフィス・キヨモリ代表取締役 元築地市場長 森本博行様



本日は築地から豊洲へ 移転の道のりと今後の展望という事でお話させていただきますが、自分は元々34年間にわたり東京都の職員をしておりまして、半分の17年間は卸売市場行政をしておりました。当面の日程という事で、10月6日に築地市場が閉鎖され、11日に豊洲市場が開場される事になっております。元は江戸時代日本橋に魚市場は発祥しており、魚河岸がありましたが、とても不衛生な状態でした。日本橋の橋の袂にトイレがあり、とても綺麗だったのですが、それは誰もトイレを使わず川で用を足していたからです。明治時代に3度コレラが流行しましたが、そのうち2度は魚河岸からだったと言われています。そしてこの向かい側は三越で、この近くに何故そのような不衛生な場所があるのだという事で、明治22年から警視庁や東京市に移転を要請され続けました。その



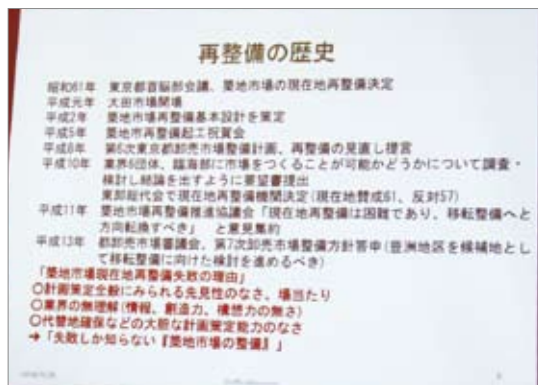
後大正12年の関東大震災によって日本橋の市場は大きな被害を受けました。本当は改築をすれば使用可能だったとの事ですが、当時の管理が非常に厳しい警視庁衛生部(現在の保健所)から立ち退きを迫られ、築地に移転する事になりました。



当時の築地は海軍の基地がありましたが、震災で壊滅してしまい、他に移転しました。そこに日本橋から市場が移転してきました。元にあった海軍の基地が何故移転したかという、当時の士官養成所の生徒は、近くの銀座を飲み歩いて事件を起こす事が多く退学者が増えてしまったため、繁華街に学校があってはいけないという判断でした。では何故海軍移転後に市場がここに移転したのかという事ですが、これは推測の域は出ませんが軍事施設だったので埋没物があり、一般には払い下げ出来なかったのではないのでしょうか。築地市場は移転当初「暫定施設魚市場」といって、正式に開設された1935年より以前は、同じ敷地の中で移転をしておりました。



当初移転より2年間もはっきりしない時期を経たのですが、先見性がなかった、場当たりのだった、業界の人が良く分かっていなかった、大胆な計画性がなかったという事で、私は「失敗しか知らない築地市場の整備」と呼んでいまして、要するに成功体験がないのです。



一方で大田市場は、秋葉原駅前にあった神田市場があまりに狭いために移転されたのですが、これが大成功を収めました。昭和60年代には大田市場に築地も統合して、大市場を形成するという計画もあったのですが、理解が進まず大規模市場は出来ませんでした。本来この計画が順調に進めば、そもそも豊洲の問題もなかったという事なのです。そして結果として築地からの移転となりましたが、豊洲市場では当初高層ビルを建設し、その地下に場外市場も移転させ千客万来施設を造るという計画をしていましたが、行政が二転三転したために頓挫し、公募をした結果、万葉倶楽部が運営をする事になりました。また当初は平成24年度に開場する事を目途とするとなっていました。その後平成28年となり、その後再度延期され本年10月の開場となりました。また市場のPFI方式(公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法)の導入も断念しました。そして本日配布しているパンフレットは東京都のホームページからのものですが、ここに掲載されているのはあくまで理想なのです。豊洲は5街区(青果棟)・6街区(水産仲卸売場)・7街区(水産卸売場、管理施設等)に分けられていて、現在引越し作業が進められていますが、11月頃には一部見学が可能になるかと思えます。但し駐車場がありませんので、電車等にてお越し頂く様になってしまいます。図面を見て頂くとお分かりになると思いますが、市場の通路が非常に複雑で、自分も何度も足を運んでいます。いまだに迷ってしまいます。また見通しの悪い交差点等も複数あり、事故が懸念されます。実際にお客様にもご覧頂きましたが、築地市場の時はバイクや自転車でお見えになる方が多かったのですが、豊洲市場の駐輪場は1階と4階にあり、4階は歩いて引かないと行けず、更に行きより下りの帰りの方が怖い状況でありました。この状況が豊洲でも続かない事を願います。また5街区の青果は成功を収めると思えます。これは競合相手の大田市場もありますし、その後も頑張っている事で、競争の原理が働いているからだと思えます。水産中卸ですが、これは道路の地下に走る通路があります

が、現在も通行方法が決まっていません。そして冷蔵庫棟は温度管理施設があり、10.5度まで下げる事が出来ますが、15度で運用する事になっています。品物さえ冷えれば良いのですが、天井も高くここまで冷やす必要があるのかどうか疑問もあります。フランスではランジスという大きい市場があり、ここにも温度管理施設がありましたが、とても寒いのと電気代が高くなるので、現在は停止しています。豊洲もそれに倣って停止し窓を開放する様な対応をしていますが、場所柄猛烈に風が抜けてしまうので、同じようにならないかと心配しております。続いて管理施設等でここにはバスのロータリーがありますが、既存の都バスはRが小さく回りきれません。交通局はこの場所に特別に少し小さいバスを製造して運行するようです。続いて通勤駐車場ですが、ここも狭く運転は難しい状況です。これは慣れれば良いのかとも思いますが、心配はつきません。また周辺地域が緑化され整備されておりますので、現在でも鼠やハクビシン、狸やカラスやハト、季節によってはかもめもきますので、どのように対処するのかと思っています。閉鎖型とはいっても入り口は開閉し、その間に入ってきてしまいますので、今後どのように対処するのが課題です。またにぎわいゾーンにはホテルも建設予定となっております。2022年にオープン予定ですが、果たして成功するかどうか疑問もあります。そして交通の便ですが、銀座からもそう遠くなく近くに駅もありますので、それほど不便ではありませんが運賃がとにかく高く通勤費用が高くなるので、これも懸念材料です。そして一般道ですが、環状2号線は皆様もお聞きになっていると思います。これは新橋方向から築地と豊洲を通過する計画でしたが、全体の開通は2022年3月という事で、本来オリンピックの間に合うように工事を進める予定でしたが、オリンピックには間に合いませんので、代替として高速道路を利用する事になります。本来市場というのは、食料が不足している時にどのように末端まで配給するかという事を考えて作られていたのです。そして卸売市場は、米騒動があったので直接農産物の生産手段を持たない都市住民に、食糧を供給するための物として考えられたのです。また戦争が近い事もあり、ロジステック機能も重視されたのです。築地市場では昭和60年まで鉄道の引込線があり、戦時中は軍事施設としても考えられていたようで、屋根に迷彩柄が塗られており米軍の爆撃もあまり受けていませんでした。米軍が戦後にこの施設を利用しようと考えられていたからだとも言われています。しかし昭和10年に開設してからわずか6年で

戦争の影響で、築地は配給機関と化してしまいました。そしてその時の仲卸業者は1,200程ありましたが、解散してしまいました。戦後日本の経済力を弱体化させるために、独禁法や中小企業協同組合法を制定しましたが、当時は民主的で平等原理を持ち込んで、決められない団体として中小企業が形成されてしまったので、これが日本に大きな影響を与えたのです。また戦前の日本橋では板舟権といって平板を並べて行商する事が認められていましたが、当時約1,600あったのを、これも数の乱立による弱体化を狙って全て認めた事で減っていったのです。そして現在は約470となっています。その後安定期を迎えましたが、スーパーの出現により安定を失いました。そこで市場の再整備が行われましたが、築地だけが取り残される状況になってしまいました。そして移転に関しては6,000億も掛かるといわれていましたが、実際には税金が使われず独立採算を目指して行っていたので、発想当初は理想的な考えであったと思います。そして本当に移転が実現するのかという不安の中進んで行きましたが、結局は推進側の新市場セクションでの課題は、技術系職員の人に市場の仕組みは分からないので短期間で済んでしまし作ってしまえと考えていた事です。では歴代の都知事はどう考えていたかという点、美濃部さんは消費者第一を唱えていましたが、市場は消費者の観点ではないと考えています。鈴木俊一さんは、現在地を再整備するという構想で素晴らしいと思いました。その後複数の知事を経て、石原都知事の時は、豊洲への移転が既に決まっていたので、それを会見の時にもしきりに話されていました。その後の猪瀬さんは別の問題が浮上り残念な退職となり、その次が舛添さんでしたが、決める事はしっかり決定し責任を持っていましたので、実は優秀な方だったと思っています。その後は現職の小池さんですが、他の方も含め全般的に言えるのは、あまり市場についての興味が薄いのではと感じました。初代市場長の荒木 孟さんは「市場は別世界であると言われるが、ではどこが特別であるのか案外ははっきりしていない。はっきりしていない頭で法律を作り、解釈し行政をなし問題を論ずるから、とかく物事が過ぎたるは猶及ばざるが如しであったり、偏ったり間違ったりするものだ」ということを言われました。これは市場でなくても通じる事だと思いますが、市場特有のものかもしれません。不安はありますが、豊洲市場の未来は発展する事と思っています。あくまでも個人的意見が先行しましたが、ご清聴頂き有難うございました。

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階  
【TEL】 042-525-4046 【FAX】 042-529-2666  
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>  
【E-mail】 [ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp](mailto:ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp)

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川  
TEL：042-527-1111  
例会日／金曜日 12：30点鐘  
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／渡邊達也委員長